

**(仮称) 小牧市立第一こども園建設基本構想・基本計画
【 概要版 】**

令和5年6月

小牧市こども未来部

小牧市民憲章

市制施行 30 周年

わたくしたち小牧市民は、小牧を

- 1 健康で生きがいのある 明るいまちにしましょう
- 1 感謝と思いやりのある あたたかいまちにしましょう
- 1 緑とやすらぎのある 美しいまちにしましょう
- 1 高い文化と教養のある 豊かなまちにしましょう
- 1 希望と働く喜びのある 活気あふれるまちにしましょう

小牧市民憲章は、市民の道しるべとして、健康で明るい生活を送るため、また、市民一人ひとりの心構えや果たすべき役割を明確化し、心ふれあう豊かな社会を形成するため、小牧市制施行 30 周年を記念し、昭和 60 年 5 月 15 日に制定されました。

こども夢・チャレンジ No.1 都市宣言（要約）

市制施行 60 周年

私たちは、こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信します。

そこで、私たち小牧市民は、

- 一. こどもの夢への挑戦を応援することで元気になるまち
- 一. 世代を越えて市民のつながりが生まれるまち
- 一. 支え合うことでさらに住みよくなっていくまち

このようなまちの実現に向け、小牧市を「こども夢・チャレンジ No.1 都市」とすることを、ここに宣言します。

こども夢・チャレンジ No.1 都市宣言は、小牧市の特徴である「子育て支援が充実している」姿を一層高め、「こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまち」を小牧市全体で目指し、市内外に発信していくため、小牧市制施行 60 周年を記念し、平成 27 年 5 月 17 日に宣言しました。

1. 計画策定の目的

本計画は、小牧市公共施設適正配置計画及び第2期小牧市子ども・子育て支援事業計画に基づき、適正な保育の量と質を確保するため、園舎の老朽化等の課題を抱える第一幼稚園（市内唯一の公立園）及びそれに近接する大山保育園を統合し、幼稚園の機能と保育園の機能をあわせ持つ「公立の認定こども園」（(仮称)小牧市立第一こども園。以下、「(仮称)第一こども園」という。）として令和9年度の開園を目指して施設整備を進めるために策定するものです。

【園の課題】

●第一幼稚園

園舎の老朽化(築48年)

園児数の減少

●大山保育園

園舎の老朽化(築50年)

保育室が飽和状態、駐車場不足

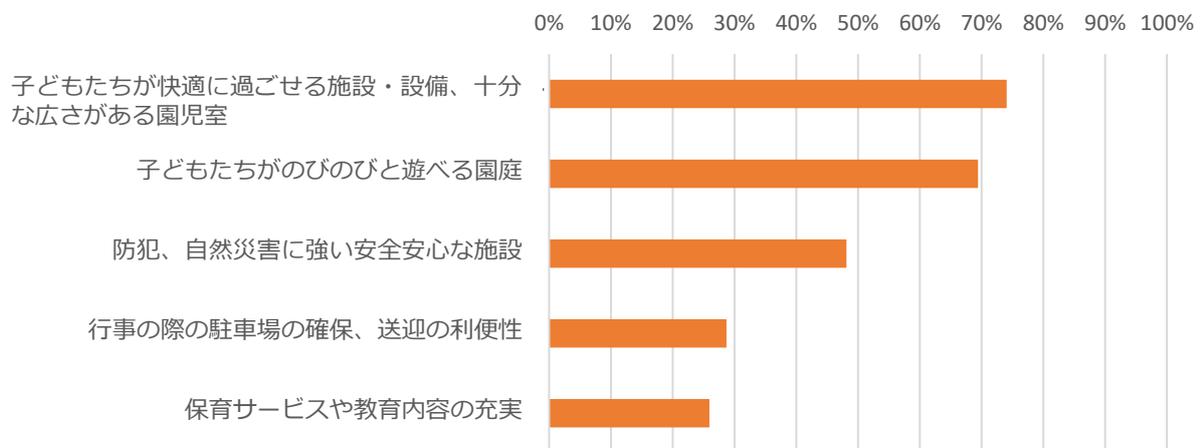
両園を統合し、現第一幼稚園の敷地に
「公立の認定こども園」を整備することで課題解決を図ります。

2. 保護者及び保育士等のニーズ把握

(仮称)第一こども園の施設のコンセプト、配置計画等を検討するため、第一幼稚園及び大山保育園の保護者と保育士等の職員を対象にアンケート調査を行いました。調査項目のうち、こども園の整備に望むもの、重視することで回答が特に多かった項目は、「子ども達たちが快適に過ごせる施設・設備、十分な広さがある園児室」、「子どもたちがのびのびと遊べる園庭」です。

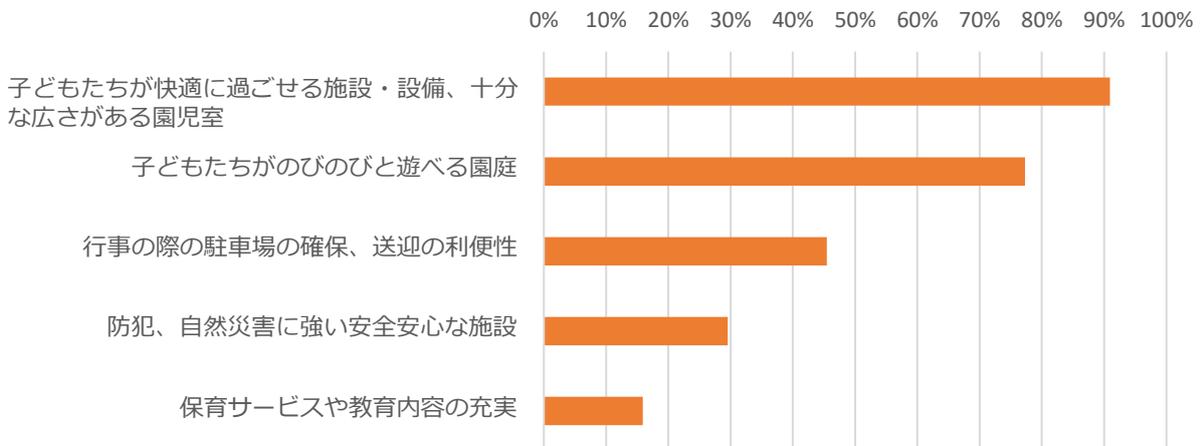
●保護者 回答者：108名 回答率：59.7%

認定こども園の整備に望むもの ※回答数が多い上位5つを記載



●保育士等 回答者：44名 回答率：97.8%

こども園の整備で重視すること ※回答数が多い上位5つを記載



3. (仮称)第一こども園のあるべき姿・果たす役割

小牧市立第一幼稚園のあり方に関する報告書（小牧市立第一幼稚園のあり方に関する検討部会／令和3年2月）を踏まえ、(仮称)第一こども園のあるべき姿・果たす役割を次のとおり設定します。

- ① 質の高い幼児教育の実践と情報発信
- ② 多様な保護者ニーズへの対応
- ③ 幼保小の連携、小学校への円滑な接続と関係機関との連携
- ④ 家庭や地域と連携した園運営の推進
- ⑤ 多様な子どもの受入れ体制の充実
- ⑥ 小牧市の中心部に位置する広域的な認定こども園

4. (仮称)第一こども園の建設に対する基本的な考え方

「2.保護者及び保育士等のニーズ把握」及び「3.こども園のあるべき姿・果たす役割」を踏まえ、(仮称)第一こども園の建設に対する基本的な考え方を次のとおり設定します。

【施設整備の理念】

『つなぐ』

第一幼稚園と大山保育園の継承、統合をはじめ、人と人との繋がりを大切にした（仮称）第一こども園を創る

継承・・・第一幼稚園と大山保育園が積み上げてきた成果や理念を（仮称）第一こども園へ「つなぐ」

連携・・・（仮称）第一こども園、あさひ学園、子育て支援、小学校・放課後児童クラブが持つ機能を「つなぐ」

架け橋・・・小牧市の子ども同士、保護者同士、職員同士、学校、地域、世代間、自然や環境と子どもたちを「つなぐ」

【保護者向けアンケート及び職員向けアンケートの結果を踏まえた重点事項】

- 子どもたちが快適に過ごせる施設・設備、十分な広さがある園児室
- 子どもたちがのびのびと遊べる園庭
- 防犯、自然災害に強い安全安心な施設

0歳児から5歳児までの子どもたちが、家庭に次いで長い時間を過ごす生活と学びの場であることに十分配慮した施設整備とする。



【(仮称) 第一こども園のめざす目標・姿】

『みんなが元気でワクワクできるこども園』

『第一幼稚園・大山保育園の歴史を継承した
オンリーワンのこども園』

【(仮称) 第一こども園の施設整備コンセプト】

①子どもたちがのびのびと、
ゆとりを持って過ごせる、
空間に余裕ある施設

多様な経験ができるような保育室や遊戯室、自然に触れ合い春夏秋冬の四季を感じることができる園庭、ゆとりあるトイレや玄関まわり、多様な活動を可能とするスペース（保育室と連続するテラス等）の確保 など。

②子どもたちの健康や快適さを
大切にした施設

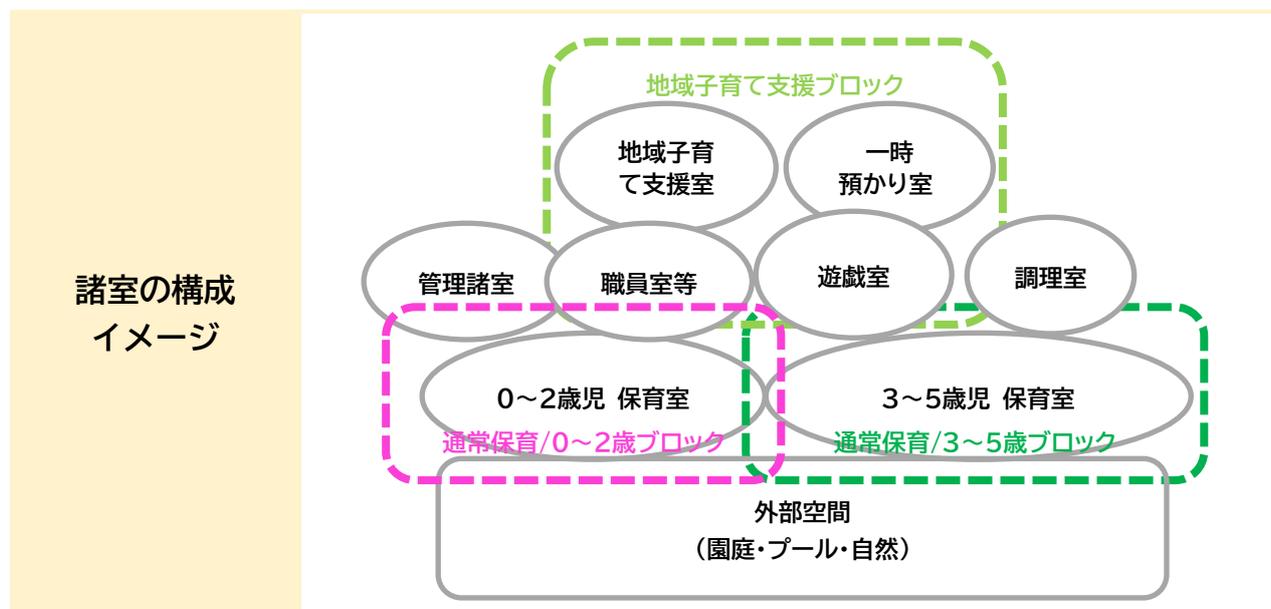
内装材への木材の活用等（室内の温熱環境、調湿機能等を考慮）、通風、採光等を十分に考慮した空間配置 など。

③子どもたちの安全を守り、
地域に開かれた施設

できる限り死角のない施設配置、開放感に配慮した防犯対策の充実、誰もが利用しやすいバリアフリー化の推進 など。

【(仮称)第一こども園の将来像】

- I ■ 子どもたちが健やかに成長できる施設
- II ■ 安全で安心して利用できる施設
- III ■ 自然に触れ合うことができ、環境に配慮した施設
- IV ■ 地域交流や学校連携の拠点となる施設
- V ■ 子育て支援や保護者の集いの場となる施設
- VI ■ 職員にとって働きやすい施設



5. (仮称)第一こども園の機能・規模

(仮称)第一こども園の定員については、現在の第一幼稚園及び大山保育園の園児数を踏まえつつ、今後高まる保育ニーズの受け皿を確保する必要性を考慮し、定員 234 名と仮定します。なお、年齢別の割り振りは次のとおりです。

現在の定員と園児数 (人)

(令和 4 年 12 月 1 日時点)

	第一幼稚園		大山保育園		合計	
	定員	園児数	定員	園児数	定員	園児数
0 歳			6	6	6	6
1 歳			8	8	8	8
2 歳			11	11	11	11
3 歳	40	17	38	31	78	48
4 歳	70	24	38	26	108	50
5 歳	70	28	39	32	109	60
合計	180	69	140	114	320	183

現在の定員を元にした 年齢別の割り振り

	割り振り案			
	1号 (幼稚園) (人)	2,3号 (保育園) (人)	合計 (人)	学級 数
0 歳		9	9	1
1 歳		15	15	1
2 歳		30	30	1
3 歳	25	35	60	3
4 歳	25	35	60	2
5 歳	25	35	60	2
合計	75	159	234	10

また、(仮称)第一こども園の定員を踏まえ、各諸室の面積を次のとおり設定した結果、建物の延床面積は1,857㎡になりました。

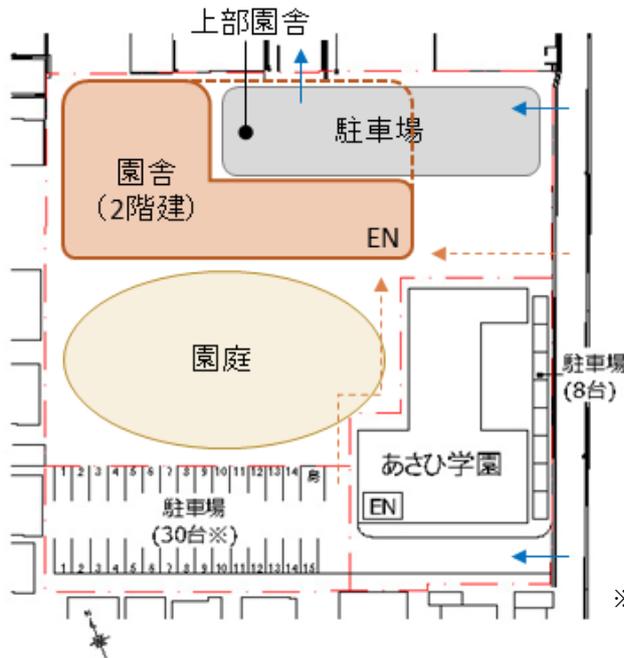
したがって、本計画においては施設の延床面積(園舎内部の各諸室の面積の合計)を約1,860㎡と設定しました。

名称		数	単位面積 (㎡)	小計面積 (㎡)	基準面積 (㎡)	備考
保育室等	0歳児室	1	55	55	29.70	9名
	1歳児室	1	55	55	49.50	15名
	2歳児室	1	65	65	59.40	30名
	3歳児室	3	50	150	118.80	60名、2階以下
	4歳児室	2	75	150	118.80	60名、2階以下
	5歳児室	2	75	150	118.80	60名、2階以下
	遊戯室	1	200	200	403.92	
	多機能スペース	1	120	120		ランチルーム、図書室等
	病後児保育室	1	5	5		
	子育て支援・一時預かり室	1	55	55		
職員室等	職員室	1	75	75		想定職員50名
	休憩室	1	15	15		
	医務室	1	20	20		
	会議室	1	30	30		
	更衣室(女性)	1	25	25		ロッカー等を設置
	更衣室(男性)	1	7	7		ロッカー等を設置
	調理室	1	120	120		
	給湯室	1	10	10		
	玄関	1	115	115		
	EV	1	15	15		
トイレ	トイレ(乳児用)	2	20	40		
	トイレ(幼児用)	3	25	75		
	トイレ(大人女性用)	2	12	24		
	トイレ(大人男性用)	1	6	6		
小計				1582		
廊下、階段				227		
収納、倉庫				48		
延床面積				1857		園舎内部の各諸室の延床面積の合計

6. (仮称)第一こども園の配置のイメージ

建設工事中においても第一幼稚園に隣接する「あさひ学園」の運営は継続する必要があることや園児の生活環境・動線・利便性を考慮した結果、施設の配置案を次のとおり設定しました。なお、この案はイメージであり、詳細については、今後の設計業務において検討します。

施設配置のイメージ



敷地面積	3503.00 m ²
延床面積	1860.00 m ²
配置案	敷地北側に園舎(2階建て)を配置する。日当たりがよく、雨天時送迎の利便性が高い園舎が実現できる。
歩行者動線	現在とほぼ同じ。駐車場から雨に濡れず建物に入ることができる。
既存樹木	園庭南の樹木を再利用できる。

←：歩行者動線、←：車両動線、EN：エントランス
 ※南側駐車場の30台の内10台をあさひ学園より借用中。

各諸室の仕様・配慮事項（主なものを抜粋）

諸室・場所	仕様・配慮事項
全体共通事項 室内環境・部材	<ul style="list-style-type: none"> 年齢や生活時間に合わせた施設配置とする。 各諸室に調節可能な冷暖房設備、LED照明等を完備する。 窓に網戸、天井にシーリングファンを設置し、自然採光や通風、感染症対策のための換気も考慮した設計とする。 年齢や用途に合わせ、自由な組み合わせや調節ができ、整備が容易な木製のロッカーや棚、遊具等を採用する。 園舎内でも自然を意識でき、雨の日もしっかり遊べる室内環境とする。 防犯システムを導入し、安全で安心して利用できる施設とする。 ランチルームや図書室など、将来的な保育需要に備え、保育室や打ち合せスペースとして活用できるように配慮する。
乳児室	<ul style="list-style-type: none"> 家庭的な雰囲気や、落ち着いてゆったり過ごせるよう配慮する。 安全性に配慮し、子どもの手が届かない家具の活用や設備工夫をする。 転んでも怪我をしにくく、食事等の汚れが落ちやすい床材を使用する。 園児数の増減や状況に応じて、棚や仕切りの位置を自由に変更できるように配慮する。 子どもの些細な変化や体調管理に対応できる施設環境（例：床暖房等）や、必要設備との位置関係を考慮する。

諸室・場所	仕様・配慮事項
保育室	<ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶスペース、食事スペースなど分けることができるように配慮する。 ・十分な広さを確保し、子どもが落ち着ける小スペース、お絵かきコーナーや図書コーナー等、いつでも自由に利用できるスペースに配慮する。 ・同学年の保育室は、可動間仕切り等による多様な使い方に配慮する。 ・外遊びと中遊びをつなげる空間（例：テラス等）を設置する。 ・遊び道具や材料を出し入れできる収納スペースを十分確保する。 ・ケガや事故の防止に配慮した家具や建具を設置する。
遊戯室	<ul style="list-style-type: none"> ・式典や発表会等を行うスペースを確保し、照明・放送設備等を設置する。 ・子どもたちが運動できる広さを確保する。 ・乳児のお昼寝に配慮し、乳児室との位置関係に配慮する。
調理室	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の一環として、0歳児から5歳児まで全ての年代の子どもが調理風景を見学でき、調理の匂いも体感できるよう配慮する。 ・作業区分やアレルギー対応に配慮したスペースや動線を整備する。 ・室内の温度管理等のため、IH調理器を検討する。
多機能スペース (ランチルーム、 図書室等)	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢交流の場として、多用途に活用できる施設・設備とする。 ・地域との交流活動や会議室としての利用も可能なように配慮する。 ・保育需要に備え、保育室としての利用も可能なように配慮する。
職員室・医務室	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭や園全体の動線に配慮した位置に配置する。 ・医務室は職員室内に配置し、職員が園児の様子を見ながら執務や電話対応ができるよう配慮する。 ・常勤職員の事務スペースを確保し、効率的な執務空間に配慮する。 ・放送設備、内線電話機能を充実し、職員間の情報共有の効率化を図る。
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレはすべて乾式とし、学年ごとのトイレ、手洗い場を設ける。 ・年齢区分に応じ、男女別、または男女併用等を配慮する。 ・保育室から直接行き来ができるなど、動線に配慮する。 ・一部のトイレについては、屋内、屋外の両方からアクセスを可能とする。 ・鏡の高さを変えるなど、形や高さを工夫し、発達に合わせてトイレトレーニングがスムーズに行える環境とする。
玄関	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に職員と保護者がコミュニケーションを図れるよう、広くフラットなつくりとし、十分な掲示スペースを確保する。 ・雨に備えた屋根、軒を設置する。
子育て支援室・ 一時預かり室	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が利用しやすい1階の位置に検討する。
会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽にミーティングを行うことができるよう、人数に応じて使い分け可能な会議室を設ける。(置き型パーティションで区切る等)
園庭	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳未満児（特に0・1歳児）が安心して遊べる砂場等の確保に配慮する。 ・平坦な園庭ではなく一部には起伏を設け、子どもの遊びへの意欲や探究心を掻き立てる仕組みをつくる。 ・身近に植物や虫と触れ合うことができる環境とする。 ・既存の記念樹は可能な限り保全する。 ・四季の変化を楽しめ、五感を使って遊べるよう、実がなり、色づく木の植樹、水遊びができる環境を整備する。 ・子どもたちが栽培や収穫ができる菜園、花壇を整備する。
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズな送迎、安全面に配慮する。 ・駐車場の混雑を緩和する対策として、敷地北東部に屋根付きの乗降スペース（車寄せ）を検討する。

7. (仮称)第一こども園の建設スケジュール

(仮称)第一こども園は、現在の第一幼稚園を解体した後、同じ敷地に新たに建設します。このため、工事期間中（令和7年度及び8年度）、第一幼稚園の在園児は他の場所に建設する仮園舎で園生活を送ります。

(仮称)第一こども園は令和9年4月の開園を目指して整備を進めます。

- 令和5～6年度：設計業務（解体設計・基本設計・実施設計）
- 令和6年度：仮園舎の建設工事
- 令和7～8年度：解体工事・建設工事、仮園舎の運営
- 令和9年4月：(仮称)第一こども園の開園予定

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
基本設計・実施設計		解体設計 基本設計	実施設計	確認申請		
仮園舎工事 (別敷地)	工事入札・契約		入札・契約			
	仮園舎工事		仮園舎工事			
こども園 建設工事	工事入札・契約			入札・契約		
	解体工事			第一幼稚園解体工事		
	新築工事				新築工事	
	外構工事				外構工事	
移転				仮園舎への移転	こども園への移転	●供用開始



SDGs未来都市 **こまき**

こども夢・チャレンジNo.1都市宣言のまち

(仮称) 小牧市立第一こども園建設基本構想・基本計画 (概要版)

発行日：令和5年6月

発行：小牧市

編集：小牧市こども未来部 幼児教育・保育課

〒485-8650 愛知県小牧市堀の内三丁目1番地 小牧市役所

電話番号 0568-72-2101 (代表)